

平成30年3月2日
総合政策局物流政策課
技術政策課

新型航空保冷コンテナ（試作品）の試験輸送を実施します

～ 我が国農林水産物・食品の輸出額 1兆円の目標達成に向けて ～

国土交通省では、地方産地から海外までのコールドチェーンの構築のため、新型航空保冷コンテナの研究開発を実施しており、今般、研究開発の一環として、新型航空保冷コンテナ（試作品）の試験輸送を実施します。

国土交通省では、我が国農林水産物・食品の輸出額を1兆円とする目標の達成に向けて、地方産地から海外までのコールドチェーンの構築のため、今年度から「交通運輸技術開発推進制度^(※1)」を活用し、新型航空保冷コンテナの研究開発を実施しています。

今般、温度データを実運用に近い条件で収集し保冷性能を評価するため、開発中のLD-3^(※2)型保冷コンテナ（試作品）の試験輸送を下記のとおり実施します。

(※1) 交通運輸分野の競争的資金制度として平成25年度に創設。本研究開発は平成29年度に新規採択。

(※2) 国際航空運送協会（IATA）が航空機材等に対して規定する識別コードで、LD-3は国際航空輸送において最も多く用いられているコンテナの種類。

1. 日 時 : 平成30年3月6日（火）～8日（木）
2. 路 線 : (往路) 羽田空港 → 那覇空港 → 香港国際空港
(復路) 香港国際空港 → 那覇空港 → 羽田空港
3. 実施概要 : 別紙参照
4. 実施者 : 東プレ株式会社、トプレック株式会社、ヤマト運輸株式会社
5. 取材等 : 3月6日（火）13時から14時の間、羽田クロノゲート（ヤマト運輸株式会社）にて新型航空保冷コンテナ（試作品）を公開、試験輸送についてご説明します。取材を希望される方は、3月5日（月）17時までに、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

(新型航空保冷コンテナ・試験輸送・取材について)

総合政策局 物流政策課 企画室 大庭、吉藤、高原

代表 : 03-5253-8111 (内線 53-314)

直通 : 03-5253-8799 F A X : 03-5253-1559

(交通運輸技術開発推進制度について)

総合政策局 技術政策課 技術開発推進室 芝田、保坂

代表 : 03-5253-8111 (内線 25-634)

直通 : 03-5253-8950 F A X : 03-5253-1560

試験輸送実施概要

※中・大型航空機用の航空保冷コンテナ

【内 容】

- 蓄冷式航空保冷コンテナ（試作品）とドライアイス冷媒式航空保冷コンテナ（既存品）の温度データを実運用に近い条件で収集し、保冷性能を比較する。

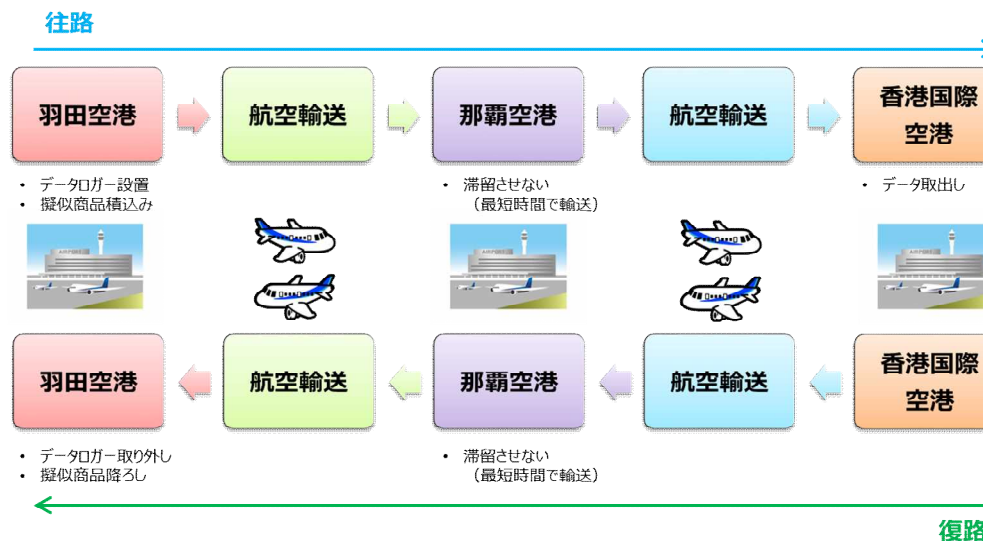
【路 線】

- 往路：羽田空港 → 那覇空港 → 香港国際空港
- 復路：香港国際空港 → 那覇空港 → 羽田空港

【日 程】

- 3/6 ~ 3/8

【輸送工程】



保冷システムの概要

	外観	保冷性能	保冷システム	その他
既存技術A ※ E社参考		<ul style="list-style-type: none"> ● 保冷温度：-20℃～+20℃ ● 保冷時間：72時間（25℃環境下でドライアイス180kg搭載時） ● ドライアイスによる過冷却の傾向が強い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 隔離されたスペースにドライアイスを搭載し、ファンによって貨物スペースに冷気を送り込むシステム ● ファンは、単1乾電池（1.5V）×8本（12V）を動力としている ● 輸送毎にドライアイスと乾電池が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自重：445kg（ドライアイス最大搭載時） ● 内容量：2.93m³ ● 現在、最も一般的に運用されている
既存技術B ※ E社参考		<ul style="list-style-type: none"> ● 保冷温度①：0℃～+10℃（±3℃） ● 保冷温度②：+10℃～+20℃（±5℃） ● 保冷時間：30時間（+30℃環境下で+5℃設定時） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 隔離されたスペースに充電電池と冷却/加熱装置を搭載し、ファンによって貨物スペースに冷気/暖気を送り込むシステム ● 充電電池は、地上電源にて最大8時間で充電可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自重：635kg ● 内容量：2.3m³ ● 輸送毎に高額なリース契約が必要となっており、運用は限定されている
研究開発技術		<ul style="list-style-type: none"> ● 保冷温度：+5℃±3℃ / -18℃以下 ● 保冷時間：24時間以上（+35℃環境下） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 貨物スペースに蓄冷剤を搭載し、内部の空気を自然対流させるシステム ● 蓄冷剤の冷却装置を搭載し、地上電源にて 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自重：585kg以下 ● 内容量：1.8m³以上

